

# まちづくりひろ

平成27年度まちづくりフォーラム  
～つながりひろがるまちづくり～



## 西志津お囃子友の会

観客参加型のイベントを目指し、青森ねぶた囃子の習得を行っている。首都圏で行われたいくつかのねぶた祭りの視察や青森ねぶた囃子団体所属の方を講師に招いての講義、各楽器の講習や練習を繰り返している。今年度は3回青森ねぶた囃子を交えた演奏会を開催した。



## 特定非営利活動法人 モチモチの森

障がいのある子供やその家族を支援することを目的に事業を行っている。佐倉市助成により佐倉市立美術館にて「障がいを持つアーティスト二人展・講演会」を開催。絵画・切り絵130点を出品、5日間の開催期間中に約600名の来場者を迎えた。講演は両アーティストのお母様が行い、来場者の心に深く残る講演会となった。



## 長いすの会

地域住民における交流の希薄化及び高齢者の孤食等の課題改善として地産地消を心がけた憩え場・コミュニティカフェ事業を展開。今年度は4回開催し、健康体操や歌の合唱、ク



イズや脳トレなどを交え、美味しいお料理の提供を行った。また、認知症予防の勉強会も開いている。

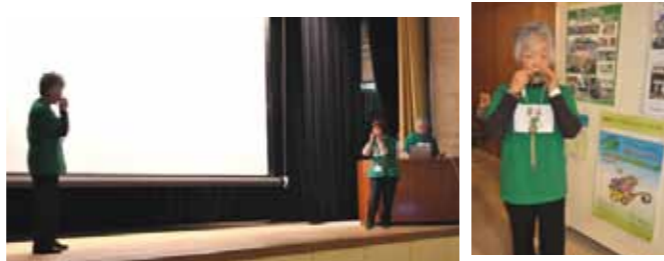
## ベコちゃん

2012年「佐倉城級グルメコンテスト」グランプリの「佐倉丼」普及のため、いんばふれ愛フェスタや佐倉の秋祭り、TOTO工場モデルフェアin佐倉に出店。また佐倉市定住促進プロジェクトのイベント「暮らし体験ツアー」に協力。佐倉丼を通じて子育て世代との交流を図った。



## 草笛&リーフル「ハッピー・はっぴ」

草笛を通じて、音色が流れる自然にふれあい、その運営を通して交流人口を増やすことを目的に活動を行っている。毎月1回草ぶえの丘で、その日収穫した朝露のついた葉っぱで草笛の指導と演奏を行っている。



### 市民提案型事業

団体と市が同じ目的を共有、連携し協力して公益的な活動を行う事業。

## 市民協働推進講演会



第2部では、総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室長の野竹司郎氏を講師に迎え、「ひとづくりはまちづくり」と題し、様々な事例とまちづくりを実践している専門家の言葉を交えながら地域力について講演しました。

講師  
総務省地域力創造  
グループ人材力活性化  
・連携交流室  
室長 野竹司郎氏

まちづくりにおいては、参加者一人一人の思いを汲み取ることの大切さや、やりがいや活動に参加する楽しさを通じてモチベーションを持たせることの重要性などを挙げられました。

今年度は約300名が来場し、来場者からは「地方創生を活気づける内容で良かった」、「地域における人材育成だけに留まらず、民間企業など様々な組織や団体の人材育成に繋がるお話で、大変参考になった」などの声が寄せられました。

## 平成28年度 市民協働事業【市民提案型】募集

- 対象事業** 団体が自主的・主体的に取り組む事業で、かつ地域の活性化や地域の課題解決が図られる事業
- 対象団体** 市民が中心となって構成された10名以上の団体（申請にあたっては市民協働の推進に関する条例に基づく団体登録必須）
- 助成金額** 事業費の1/2以内（上限50万円）（活動者の人件費、食糧費、団体の運営経費などは対象外）
- 受付期間** 平成28年4月1日(金)～5月15日(日)
- 選考方法** 市民協働推進委員会でのプレゼンによる審査を行います。
- 申込方法** 申請用紙に必要事項を記入し、自治人権推進課（市役所4号館3階）まで持参<sup>(※)</sup>または郵送<sup>(※)</sup>窓口受付時間：土日祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで

# まちづくりフォーラム ～つながり・ひろがる・まちづくり～

2月7日(日)、「まちづくりフォーラム～つながり・ひろがる・まちづくり～」が開催され、まちづくりに取り組む18の市民活動団体による報告会と市民協働推進講演会が行われました。

これは、平成27年度地域まちづくり協議会事業と市民提案型事業に取り組む団体の活動内容と成果を報告するとともに、各団体の活動を知り、まちづくりについて考えて貰おうと、佐倉市が主催したものです。

まず始めに、主催者を代表して藤和雄佐倉市長より挨拶があり、日頃の地域活動に感謝を述べるとともに「皆様の力が財産であり、市が目指すふるさと佐倉の創造において不可欠である」と話しました。また、地域における人間関係の希薄化を始め、防犯・福祉・環境など様々な課題が山積しており、地方自らの力で健全な地域社会を維持することが求められている中、本日のテーマ通り市民全体でつながり・ひろがり・行動していくことで、真に豊かなまちにしていく機会であると期待を寄せました。

続いて、各団体による発表が行われました。



藤和雄市長

## 白井ふるさとづくり協議会

白井小の児童達から公募した防犯・交通規範のキャッチフレーズでのぼり旗を作成、「第10回子ども防犯教室」の開催や「第2回交通ルールを守った自転車の乗り方教室」を開催。

また印旛沼周辺・白井小学校周辺の「地域クリーン作戦」、白井小の児童達と「昔の遊び体験」や「白井ふるさとウォーキング」を通して地域交流を図っている。



誌」の復刻や「やとみガイドマップ」の増刷で活動を深めている。高齢者や児童達を中心にした事業も充実した活動となっている。



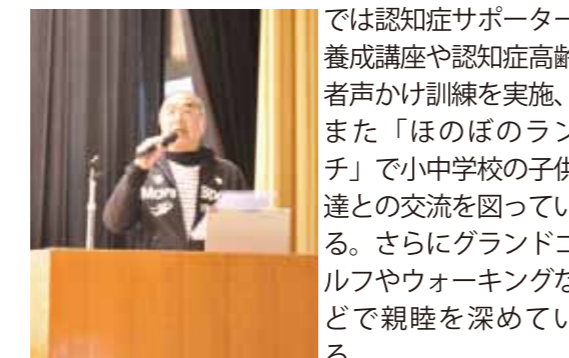
## 根郷小学校区まちづくり協議会

南部児童センターと協力した「南部クリーン作戦」、傷跡のこの旭市への「防災視察研修」や「防災マップ作成講習会」などを実施した。さらに佐倉市防災防犯課職員を招いての防犯講習会、防災講演会では浦安市職員の方のお話をいただいた。また、まち協農園では里芋やさつまいもなどの収穫体験に児童達を含む160名が参加し交流を図った。



## しづが原まちづくり協議会

子育てを応援するため敬愛短期大学より講師を招き講演会を開催。子どもの心を育むことを目的とした「手づくりキャンプ」では小中学生を含む142名が参加した。超高齢化社会を支援する活動



では認知症サポーター養成講座や認知症高齢者声かけ訓練を実施、また「ほのぼのランチ」で小中学校の児童達との交流を図っている。さらにグランドゴルフやウォーキングなどで親睦を深めている。

## 西志津小学校区まちづくり協議会

西志津小中学校ゴミゼロ活動には約600名が参加。防犯防災事業では毎月10日程度のパトロールを隊員23名で行い、合同防災訓練には約400名が参加。その他、子育て支援や多目的広場の花壇作りの美化活動、西志津芸能祭支援や西志津囃子の育成・継承に支援を行った。さらに父遊会(お父さんの会)主催で行った芋煮会では交流を深める良い機会となった。



## 上志津まちづくり協議会



文化事業部では、他自治会などのまつり等でも演奏している「なかよし太鼓」の支援やじゃがいもやかぼちゃなどの収穫体験ができる「畑体験事業」を実施。防犯防災部では合同防災訓練や本所防災館で防災体験研修を行った。またPTAとの連携で「竹工作&流しそうめん」を児童約120名と、先生、父兄協力のもと行った。



## 上座・ユーカーまちづくり協議会

防災講演会では防災システム研究所所長をお迎えし、「もし佐倉市で大規模災害が発生したら」というテーマで講演をいただき、市長にも「地域まちづくり協議会の意義と役割」で講話をいただいた。また各自治会や町会で行われている行事を

再発見して協議会としてのイベント事業の実行を目標に、会員の親睦を深め、地域が一体となるような事業展開を進めていきたい。



## 青菅まちづくり協議会

「歴史ウォーキング」を2回開催。1回目は「ラベンダー祭り」会場や鷲神社などを回り、ラベンダーの香りと歴史ロマンに浸った。2回目は青菅分校などを回り柿狩などを楽しんだ。また、災害時の住民と中学生の共助訓練では、簡易トイレ組立、段ボールでの居住床組立、ロープワークなど実践的な訓練が行われた。小中学校の剪定奉仕も行った。



## 井野小学校区まちづくり協議会

防災・防犯部では、東京臨海広域防災公園防災体験学習施設にて研修会を行い69名が参加した。また各町会へ防犯のぼりと防犯ステッカーを配布し防犯意識を促した。地域発見部では、調査を行い、神社・お寺・歴史散策などが楽しめる散歩地図作成を進めた。



## 山王小学校区まちづくり協議会

防犯部では青パト3台で地域パトロールを実施、佐倉警察署による寸劇と講話が行われた防犯講習会には約63名が参加した。防災訓練は消防署員指導の下22名が参加し実技演習を行い普通救命講習修了証を受領した。また小学生の自然観察に利用されているビオトープ、小学生の稲作体験を田植え作業から稲刈りまでをフォローしている。



## 内郷地区まちづくり協議会

親子お正月の遊び体験ではかるた取りを行い、35名が参加し、餅つき交流会も草ぶえの丘協力の下行った。また地域での防犯パトロールに努め、防災意識向上を目的として千葉県西部防災センターの見学と防災設備の体験をした。さらに著名な文化財や施設などを調査の上「内郷ガイドマップ」の編集を進めている。



## 小竹小学校区まちづくり協議会

朝の見守り活動はメンバー34名で行っている。児童達から募集した標語を使ったのぼり旗3種類計150本を掲示し防犯防災意識の向上に努めた。また千葉県警察音楽隊と佐倉警察署による防犯教室と演奏会も行った。小学校の体育館で行った親子餅つき大会では約300名が参加した。小学3・5年生を中心に行った民俗行事「辻きり」づくりも好評だった。



### 地域まちづくり事業

小学校区を基準とする区域内の自治会や各種団体などで構成された団体が、住みよいまちづくりを目的に主体的に地域課題を解決しようと取り組むもので、今年度は13団体が採択されました。

